

各関係機関長 殿  
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

令和3年度農作物病害虫発生予察情報について

令和3年度農作物病害虫発生予報第2号を発表したので送付します。

令和3年度農作物病害虫発生予報第2号

令和3年5月17日  
徳島県

I. 普通作物

早期水稻

イネミズゾウムシ

1) 予報内容

発生量 平年並(前年より少ない), 発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 5月第3半旬の巡回調査では, 発生圃場率が23.5%と, 平年(42.1%)に比べてやや低いが, 25株当たりの本田生息虫数は1.2頭と, 平年(2.2頭)並の発生である。
- (2) 高松地方气象台が5月13日に発表した1か月予報では, 気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年より少なく, 天気は数日の周期で変わり, 平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤の育苗箱施用を行っていない圃場で成虫が多発した場合には, 田植後10～15日後に薬剤を水面施用する。
- (2) 根腐れしやすい水田では幼虫被害が助長されるので, 深水を避け, 根を健全に保つ。

II. 果樹

カンキツ

そうか病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや少ない)で, 発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 5月第3半旬の巡回調査では, 春葉での発生圃場率が20.0%, 発病度が0.06と, 平年(10.8%, 0.08)並の発生である。
- (2) 高松地方气象台が5月13日に発表した1か月予報では, 気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年より少なく, 天気は数日の周期で変わり, 平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 発生園では落花期に薬剤防除を行う。

黒点病

1) 予報内容

発生量 平年よりやや少なく(前年並), 発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 5月第3半旬の温州みかん巡回調査では, 枯れ枝から黒点病菌が確認された圃場率は37.5%で, 平年(57.1%)に比べてやや低く, 枯れ枝中の $\alpha$ 型孢子数は $0.8 \sim 1.6 \times 10^5$ 個/gであった。  
なお, 2016～2020年の11月第3半旬の果実黒点病の発病度と, 枯れ枝から黒点病菌が確認された圃場率との間には, 相関関係が認められ, 相関係数は0.79となっている。

(2)高松地方気象台が5月13日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なく、天気は数日の周期で変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3)防除上注意すべき事項

(1)枯れ枝、剪定枝は園外へ持ち出して処分し、病原菌密度の低下に努める。

(2)落花期に薬剤防除を行い、その後1か月毎、または降水量200～250mm毎に防除を励行する。

かいよう病(スダチ)

1)予報内容

発生量 平年並(前年より少ない)で、発生程度は「中～多」

2)予報の根拠

(1)5月第3半旬のスダチ巡回調査では、旧葉での発生圃場率が85.7%、発病度が2.5と、平年(78.6%、1.8)並の発生である。

(2)高松地方気象台が5月13日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なく、天気は数日の周期で変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3)防除上注意すべき事項

(1)罹病枝のせん除を行い、常発園では防除を励行する。

(2)風当たりの強い園では防風対策を講じる。

ヤノネカイガラムシ

1)予報内容

発生時期 平年並

2)予報の根拠

(1)県予察圃場(勝浦町)での第1世代幼虫は、5月14日に初発生を認めた(平年:5月16日、前年:5月14日)。

3)防除上注意すべき事項

(1)薬剤による防除適期は、IGR剤・ネコチノド<sup>®</sup>剤の場合、第1世代は、ふ化幼虫初発生確認の10～15日後、有機リン剤の場合、35～40日後の時期である。

(2)スダチでは、有機リン剤による防除は行わない。

ミカンハダニ

1)予報内容

発生量 平年より多く(前年よりやや多い)、発生程度は「中～多」

2)予報の根拠

(1)5月第3半旬の巡回調査では、旧葉での発生圃場率が66.7%と、平年(46.9%)に比べて高く、寄生葉率は10.7%と、平年(8.4%)に比べてやや高い。

(2)高松地方気象台が5月13日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なく、天気は数日の周期で変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3)防除上注意すべき事項

(1)多発すると防除が困難になるので、初期防除に努める。防除の際には、かけむらのないように丁寧に散布する。

(2)薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避ける。

ナシ

黒星病

1)予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年よりやや多い)、発生程度は「少」

2)予報の根拠

(1)5月第3半旬の巡回調査では、発生圃場率が12.5%と、平年(1.3%)に比べて高いが、発病葉率は0.0%、発病果率は0.1%と、平年(0.1%、0.0%)並の発生である。

(2)高松地方気象台が5月13日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なく、天気は数日の周期で変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3)防除上注意すべき事項

(1)摘果期に薬剤防除を行う。

(2)薬剤耐性菌出現の恐れがあるので、同一系統の薬剤の連用は避ける。

アブラムシ類

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年並), 発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 5月第3半旬の巡回調査では, 発生圃場率が50.0%と, 平年(39.5%)に比べてやや高いが, 寄生新梢率は1.5%と, 平年(2.1%)並の発生である。
- (2) 高松地方気象台が5月13日に発表した1か月予報では, 気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年より少なく, 天気は数日の周期で変わり, 平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので, 初期防除に努める。
- (2) 葉裏や芯芽に寄生しているので, 薬液が葉裏にも付着するよう丁寧に散布する。
- (3) 薬剤抵抗性の発達をもたらす恐れがあるので, 同一系統の薬剤の連用は避ける。

果樹共通

果樹カメムシ類

1) 予報内容

発生時期 平年よりやや早い(前年よりやや早い)  
 発生量 平年並(前年並)で, 発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 予察灯調査においては, ツヤアオカメムシは, 勝浦町では平年(4月22日)より14日遅い5月7日に, 上板町では平年(4月25日)より24日早い4月2日に初誘殺を確認した。一方, チャバネアオカメムシは, 勝浦町ではまだ誘殺を認めていないが, 上板町では平年(4月26日)より5日早い4月21日に初誘殺を確認した。また, クサギカメムシは, 勝浦町及び上板町いずれでも認めていない。なお, 4月第1半旬から5月第2半旬までの誘殺数は, 平年に比べてやや少なく推移している(表1)。
- (2) 2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査(11地点×2か所調査)では, 6地点で越冬を確認した。越冬成虫は0.8頭/m<sup>2</sup>であり, 平年(2.3頭/m<sup>2</sup>)並の越冬密度で, 前年(成虫確認地点数は5地点, 越冬成虫数は0.7頭/m<sup>2</sup>)並であった。
- (3) 高松地方気象台が5月13日に発表した1か月予報では, 気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年より少なく, 天気は数日の周期で変わり, 平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

表1 予察灯誘殺調査結果 (単位は頭)

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

月	半旬	勝 浦 町					上 板 町				
		2021年	2020年	2019年	2018年	平年	2021年	2020年	2019年	2018年	平年
4月	1半旬	0	0	0	2	0.5	1	0	0	0	0.3
	2半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3半旬	0	0	0	3	0.8	2	0	0	0	0.5
	4半旬	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0.8
	5半旬	0	0	30	15	11.3	2	0	21	25	12
	6半旬	0	0	2	20	5.5	1	4	1	4	2.5
5月	1半旬	0	3	50	117	42.5	9	43	15	73	35
	2半旬	1	11	19	75	26.5	8	6	3	11	7

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

月	半旬	勝 浦 町					上 板 町				
		2021年	2020年	2019年	2018年	平年	2021年	2020年	2019年	2018年	平年
4月	1半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3
	5半旬	0	0	4	4	2	3	0	25	1	7.3
	6半旬	0	0	0	11	2.8	0	0	1	0	0.3
5月	1半旬	0	0	7	30	9.3	2	0	15	10	6.8
	2半旬	0	7	9	14	7.5	16	2	2	3	5.8

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹園周辺の雑木林(サクラ, キリ等)から成虫が飛来するので, 園内を巡回し, 飛来を認めたら早急に防除を行う。
- (2) 夜行性の虫なので, 薬剤の散布は夕方か早朝に実施すると効果が高い。
- (3) 移動性が大きいので, 広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

### Ⅲ. その他

- 1) 薬剤の使用に当たっては必ず使用基準を遵守し, 周辺作物等へ飛散しないように注意する。
- 2) 水田に薬剤を使用したときは, 7日間以上止水する。

#### 発生量の表示

発生程度 : 甚 > 多 > 中 > 少 > 無

発生量 : 多い > やや多い > 並 > やや少ない > 少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所  
URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujosh/>

- 病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除法等をお知らせしています。